

『シトラス』ブランドの構築を目指して

農事組合法人シトラスかみじま

<法人の概要>

所在地：広島県豊田郡大崎上島町原田 532 番地 1

設 立：平成 19 年 12 月

資本金：500 万円 売上高：0 万円（平成 23 年）

構成員（議決権）：農業従事者 6 名（75%）

役 員：8 名（うち農作業従事 8 名）

従業員数：常時雇用者 3 名、臨時雇用者 0 名

経営面積：3.54ha（うち所有 0.37ha、借入 3.17ha）

基幹農作業受託面積：0 h a

作付面積：かんきつ 3.54ha



ハウス内でのせとかの
枝つり作業

<営農を開始するまでの状況>

（農）シトラスかみじまは、かんきつの一大産地である大崎上島の農業者の高齢化、後継者となる担い手の不足が課題となっている状況を受け、高収益かんきつ栽培による農業の活性化と新規就農者の受け皿作りをするために、生産法人を設立することが肝要と判断し、広島県、大崎上島町の支援を受けながら設立した。

法人の主力作物となる施設かんきつの栽培の基盤となるハウス建設について、国庫補助事業の導入を、広島県、大崎上島町とともに検討するとともに、平成 20 年度から 22 年度にかけて、ハウス建設予定地の圃場整備を、中山間総合整備事業（国庫補助事業）により整備した。

＜特徴的な取組＞

（農）シトラスかみじまは、高収益かんきつを施設栽培で生産することを経営の主力としており、平成 22 年 3 月に、ハウス建設予定地 1.49ha にレモン等高収益かんきつの苗 2,000 本を定植した。ハウス建設については、国庫補助事業の検討を継続しておこなったが、施設かんきつの営農では、国庫補助事業の採択をうけることが困難であることから、平成 23 年度に大崎上島町の補助を受け建設することを決定。補助残の融資については、日本政策金融公庫の農業改良資金を調達し、平成 23 年 11 月にハウス建設事業が完了した。

念願のハウスが建設されたことに伴い、露地栽培の拡大についても、原田地区内の農地の集積作業を進め、主幹仕立てのいしじを中心に、栽培面積の拡大を図っているところである。その栽培面積の拡大については、従業員となっている新規就農者 3 名が中心となって推進している。

＜今後の農業経営の展開方向＞

平成 24 年度から、ハウスで栽培されたレモン等の出荷が開始される。より高値で販売するために、相対契約の販売数量を拡大するための営業活動が喫緊の課題となっており、そのための営業活動を推進する。また、周辺農地での主幹仕立てのいしじの栽培等、露地栽培の拡大も図りながら、法人としての体質強化を図っていくこととしている。

そして、経営の安定化の見通しが立てば、新規就農者の研修等の受け皿となるべく、後継者育成にも力を注ぎたいと考えている。

＜今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

未収益期間を如何に短期間に収めるかが大切である。



1.49ha のハウスの全景
このハウス内でレモン、せとか等の高収益かんきつの育苗を行っており、平成 24 年度夏から、レモンを皮切りに出荷が始まる。